

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 10

令和7年度 10月2日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら考え、自ら学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「たくましい子」

「心をもやせ 笑って終われば OK です」

日頃から児童の体調管理、水分補給等熱中症予防にご協力頂き、ありがとうございます。学校では、定期的に暑さ指数（WBGT）を確認しながら体育の時間や休み時間を過ごしています。7日（火）に迫った運動会の練習も、引き続き安全に留意して行います。学校では、スローガン「心をもやせ 笑って終われば OK です」を掲げ、運動会の練習に励んでいます。「心をもやせ」には、心を炎のように熱く燃やして、全力で集中して取り組むという気持ちが、また、「笑って終われば OK です」には、仲間と協力して笑顔で楽しむという気持ちが込められています。**暑い中、集中して頑張ってきたこと、多少の暑さや痛い思いを我慢してきたこと、最後まであきらめずにやり抜く、粘り強さも出てきたこと等児童の成長が感じられます。**



応援練習では、高学年の応援団が歌詞やかけ声、振り付け等のシナリオを決め、クラスの友達に教えることを通してチームを作り、1～4年生の各教室に行き、教えています。高学年の中には、人前で元気な声を出すことが苦手な児童や大きな動きで表現することが難しい児童もいますが、自分なりに関わろうとしていました。また、応援団が制作した動画を使って、画面を見ながら練習しているクラスもあり、日に日に完成度が上がってきました。「みんなで創り上げた応援」を、当日まで楽しみにしててください。



【勝ち負けよりも大切なこと】

連日のように満員となり、総入場者数が61万9288人に達した「東京2025世界陸上」においては、素晴らしい選手たちによる熱い戦いが繰り広げられました。

こうした戦いの後には、競い合ったチームや個人が互いを称え合い、敵味方関係なく相手に握手を求めたり、拍手を送ったりする光景を幾度も目にしました。これは、勝ち負けを越えた「自分や自分たちにできることをやり切った」「自分と同じようにやり切った相手の思いやパフォーマンスにも大きな価値を見出し、その思いを称え合う」という気持ちからです。

練習を真剣にやり切り、運動会当日を迎え、**全力で頑張る自分の団や仲間を応援する拍手を送り、勝敗の結果を受け入れ勝者にも敗者にも拍手を送り、素敵な演技に心からの拍手を送る、そのような運動会を全校で創り上げることを期待しています。**